

G空間情報センター

ニュースレター 第25号 2021年5月発行

【目次】

[1. TOPICS 「PROJECT PLATEAU を支える G 空間情報センター」](#)

[2. 上位アクセス状況\(集計期間：2021.3.1-4.30\)](#)

[3. 最新のお知らせ](#)

[4. UDC2020 受賞作品：点群データ（LP/MMS）の検索／参照容易性を大幅に向上する『道路の三次元点群データ配信基盤』](#)

[5. 注目のコンテンツ紹介](#)

[6. 「G空間と私。」寄稿募集](#)

1. TOPICS 「Project PLATEAU を支える G 空間情報センター」

1. Project PLATEAU

国土交通省都市局では、2021年度から現実の都市をサイバー空間に再現する3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を行う事業「Project PLATEAU」を開始しました。

3D都市モデルとは、実世界（フィジカル空間）の都市を仮想的な世界（サイバー空間）に再現した三次元の都市空間情報です。二次元の地図に建物・地形の高さや建物の形状などを掛け合わせて作成した三次元の地図に、建築物の名称や用途、建築年などの属性情報を加え、都市空間そのものをデジタル上で再現しています。

本プロジェクトでは、全国56都市の3D都市モデルの整備を行うとともに、3D都市モデルの利活用を推進するために、「都市活動のモニタリング」「防災」「まちづくり」などの分野で各都市のニーズに応じたユースケースの実証を行っています。

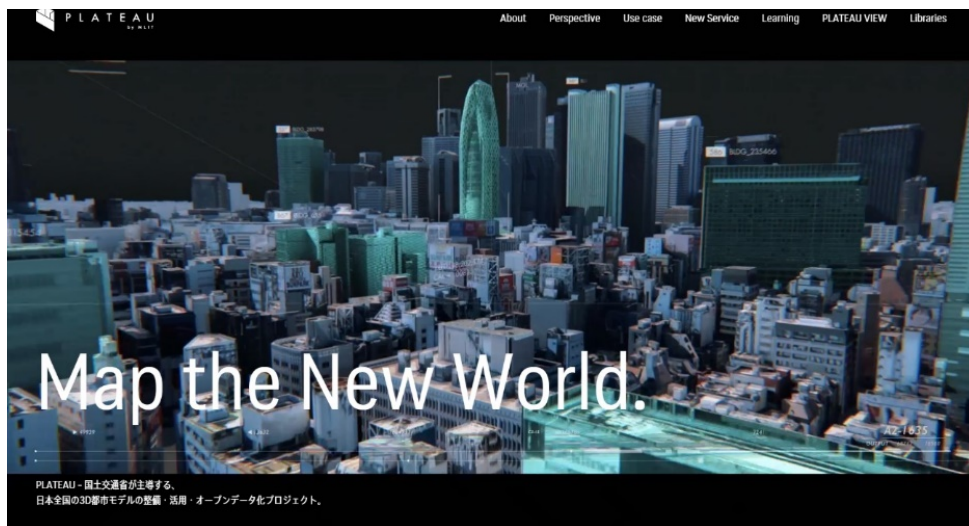


図 「Project PLATEAU」 HP (<https://www.mlit.go.jp/plateau/>)

2. G 空間情報センターの役割

(一社) 社会基盤情報流通推進協議会 (AIGID) では、国土交通省都市局と協定を締結し、G 空間情報センターで2021年3月から「Project PLATEAU」で整備された3D都市モデルをCityGMLや3D Tiles、FBX等の多様なデータ形式で公開を開始するとともに関連する各種データやプログラムの公開も開始しています。

自治体が所有している建物の情報や人口流動、環境やエネルギーのデータなどを3D都市モデルと統合することで、都市計画立案の高度化や、都市活動のシミュレーション、分析等が可能となります。そこで、AIGIDでは、3D都市モデルと自治体が所有する各種データを重ね合わせて可視化を行う、デジタルシティサービス※1の運用を開始し、自治体の都市計画やまちづくりを支援する取り組みも実施しています。

(※1) デジタルシティサービス (関連 URL: <http://www.digitalsmartcity.jp/>)

「デジタルシティサービス」とは、自治体の単位を基本とした各地域の行政を中心とした様々なデータをG空間情報センター上で、保管、管理、可視化(3次元を含む)、API提供等を行っていくサービスです。

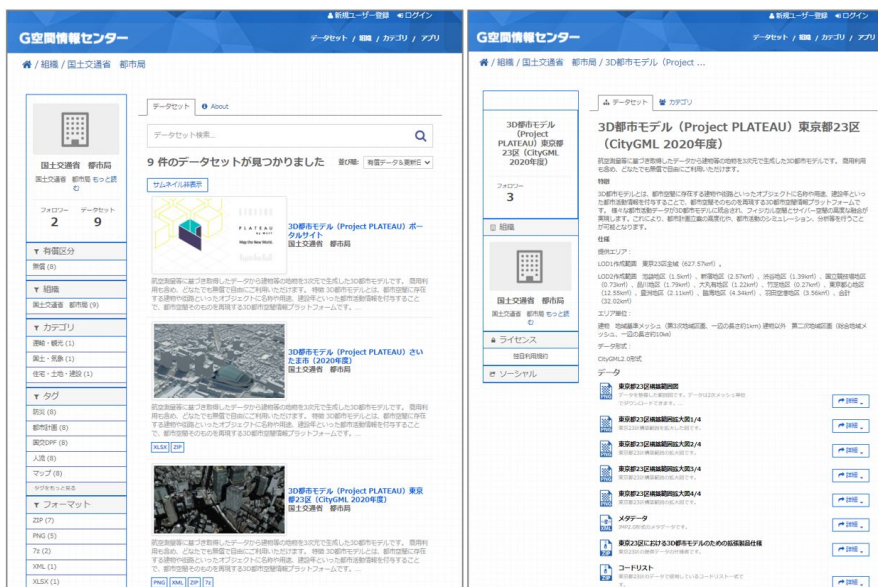


図 G 空間情報センターで公開された3D都市モデル (<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau>)

3. 今後の展開

今後、三次元データを利用したサービスは、自治体だけでなく、民間企業等が実施する様々なサービスに活用されると考えます。G空間情報センターは、「Project PLATEAU」で整備されたデータを公開するプラットフォームとしてデータの流通を支えていくとともに、デジタルシティサービス等によりデータの利活用の広げる活動も推進していきます。

3D 都市モデルに関するお問合せ先：hqt-mlit-plateau@mlit.go.jp

デジタルシティサービスに関するお問合せ先：cpod-info@aigid.jp

2. 上位アクセス状況(集計期間：2021.3.1-4.30)

登録ユーザー数	8,383 名
期間アクセス数	578,044
登録組織数	464 件
データセット数	7,118 件
ファイル数	54,779 件

人気のデータセット

1	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 2020 年度)
2	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区
3	3D 都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
4	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (CityGML 2020 年度)
5	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (OBJ 2020 年度)
6	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (3D Tiles / GeoPackage / JSON 2020 年度)
7	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 4 次メッシュ 2020 年度)
8	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (OBJ 4 次メッシュ 2020 年度)
9	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
10	全国の人流オープンデータ (1km メッシュ、市町村単位発地別)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最新のデータ公開情報は[こちら](#)

各種イベントお申込み等ありがとうございました。

最新のイベントについては、ぜひ Peatix でフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatix)

4. UDC2020 受賞作品：点群データ（LP/MMS）の検索／参照容易性を大幅に向上する『道路の三次元点群データ配信基盤』

地域の課題解決に貢献する作品を表彰する「アーバンデータチャレンジ（UDC）2020」において、商用サービスや学術研究にスポットを当て新設された「ビジネス・プロフェッショナル部門」で最優秀賞を受賞された WEB アプリケーション『道路の三次元点群データ配信基盤』！

この度、当該サービスにおけるデータを使った社会課題解決のポイントや今後の展開などについて、開発元であるインディゴ株式会社様よりご寄稿いただきました。



インディゴ株式会社 ラボチーム

道路の三次元点群データは、自動運転の支援、維持管理の効率化等のインフラ領域に加えて、地域景観のアーカイブ／回想法等での活用という観点でも、今後更に利活用が進むことが想定されます。

しかし、その利活用のハードルを下げるためには、必要箇所をピンポイントで探し出す等の検索性の向上、ならびにダウンロード時のデータサイズ最適化が不可欠でした。

機能概要（for Human | WebGUI）

機能概要（for Human | WebGUI）

同一領域内に存在する複数の点群データを切り換え／選択可能（将来的には時系列での過去データの参照／切り換えも想定）

多様な領域選択手法

路線番号（例：1818）を入力し検索すると、別レイヤーの認定路線網図タイルから路線番号／区間を参照、該当道路に近接する点群タイルを自動選択

点群データとは別に、キュレーション結果をメタデータとして出力／再利用が可能

キュレーション支援のため、道路台帳附図（geoTiff）等をタイル化し背景地図として利用

図 道路の三次元点群データ配信基盤 機能概要

私達の「[道路の三次元点群データ配信基盤](#)」では、ギガバイト規模の点群をメガバイト単位の地図タイルに分割し、ダウンロード時のデータ最適化を行うとともに、そこに認定路線図等のベクトルタイルを重畳し、当該タイルに含まれる属性等を利用することで、道路中心線や路線名による検索を可能にしました。

また、利用者が各々の目的に応じて点群データを検索し取得対象を選択する一連の操作を、私達は「情報のキュレーション行為」と位置づけ、その編集的な選択結果についても、軽量なJSON形式で取得できるようにしました。これにより、点群データの共有や参照指示は、当該のJSONファイルを展開するだけで簡単に行えるようになります。

私達の基盤には、まだまだ多様な活用可能性があると感じています。今後は、G空間情報センターにお集まりの多様なセクターの皆様と協働しながら、機能やユースケースの拡張を行ってゆきたいと考えています。

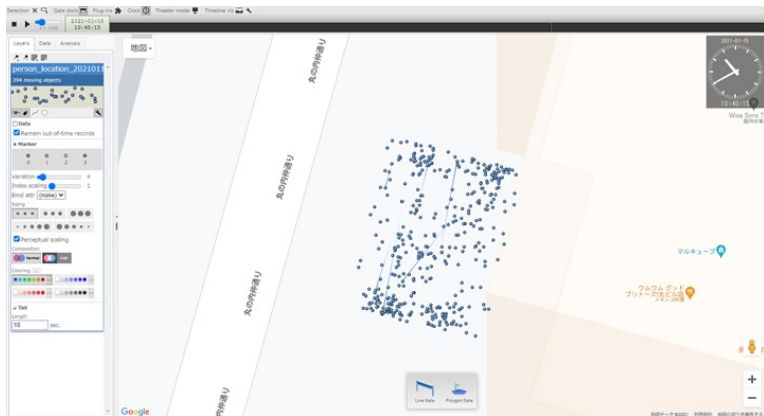
※サービスに関する説明資料は[こちら](#)

<お問い合わせ先>

本基盤を活用したサービス開発／協業に関するお問い合わせ <https://www.indigo.co.jp/contact/>

5. 注目のコンテンツ紹介

大手町・丸の内・有楽町エリアにおける人流オープンデータ



東京都内大手町・丸の内・有楽町エリア（大丸有エリア）において、令和3年1月15日（金）～2月14日（日）までの1ヶ月間にわたり、計測した人流データです。

エディタでIDを加工して、MobmapWeb等の人流可視化アプリで見られます。

対象データセットは[こちら](#)

6. 「G空間と私。」寄稿募集



G空間情報との関わりをテーマにしたエッセイを募集します。

ご自身がどのようにG空間に関わっているか
G空間情報を活用してどのように社会課題解決に挑戦しているか

より多くの皆様にG空間情報の利活用のキッカケになるものをお待ちしております。
(*事業紹介でも結構ですが、社会に役立つことが前提となるような内容でお願いします)

応募要項等詳細は[こちら](#)(PDF)

ご意見・ご要望について

G空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304号室

メール: info@geospatial.jp

TEL: 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。